

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	中野聡太
連絡先メールアドレス	nakano@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	准教授
所属	看護福祉学部リハビリテーション学科，大学院看護福祉学研究科看護学専攻
略歴	北九州津屋崎病院 国際医療福祉大学大学院医療福祉研究科保健医療学専攻 修了 九州看護福祉大学看護福祉学部リハビリテーション学科 専任講師 九州工業大学大学院生命体工学研究科生体機能専攻 修了 九州看護福祉大学看護福祉学研究科看護学専攻 指導教員
取得学位	保健医療学修士（国際医療福祉大学），工学博士（九州工業大学）
担当科目	（学部） 機能解剖学Ⅰ・Ⅱ，老人理学療法学，理学療法評価学Ⅰ，バイオメカニクス 理学療法評価学演習Ⅱ，日常生活行動学演習，リハビリテーション看護 （大学院） 看護病態機能学特論・演習・研究，看護倫理，看護理論，看護教育論
専門分野	リハビリテーション工学，老人理学療法学
所属学会	日本理学療法士協会，理学療法科学学会，日本リハビリテーション工学協会
現在の研究テーマ	介護・看護と先駆的リハビリ資源の融合による低活動高齢療養者の新たな 廃用対策の構築
教育研究業績 （著書・学術論文等）	1) Usefulness of simulation method to improve efficiency of chair-to-wheelchair transfer of patients performed by caregivers, Journal of Physical Therapy Science, 2019, vol.31 (10) , P802-806. 2) Influence of electrical stimulation on hip joint adductor muscle activity during maximum effort, Journal of Physical Therapy Science, 2016, vol.28 (5) , P1633-1635. 3) The influence of antagonist muscle electrical stimulation on maximal hip adduction force, Journal of Physical Therapy Science, 2016, vol.28 (1) , P124-127. 4) 介助者の足部位置が要乗介助者の立ち上がる力に及ぼす影響，理学療法科学, 2015, 30 (5) , P725-728.
関連業績 （受賞歴・科研費・特許等）	【科研費】 1) 2012年（挑戦的萌芽研究）（課題番号 24650340） 股関節可動域制限に対する他動運動時の拮抗筋活動抑制条件の特定 研究代表者：中野聡太 2) 2015-2016年（挑戦的萌芽研究）（課題番号 15K15905） 要介助者の能力発揮を支援する技術を向上させる手法の探求 研究代表者：中野聡太 3) 2017-2018年（若手研究 B）（課題番号 17K17532）

	<p>移乗介助量を適正化する手法の確立と介助者の腰痛予防に関わる研究 研究代表者：中野聡太</p> <p>4) 2020-2024年 (基盤研究B) (課題番号 20H04033) 拘縮と廃用性筋力低下の問題を解決に導く次世代型療養支援体系の構築 研究代表者：中野聡太</p>
社会活動・社会貢献	玉名市都市計画審議会委員